

モニタリング結果報告書 (令和6年度)

1. 施設概要

施設名	神奈川県立西湘スポーツセンター		
所在地	小田原市西酒匂1丁目1番26号		
サイトURL	http://www.bsc-buddysisetu.jp/		
根拠条例	神奈川県立スポーツセンター及び神奈川県立西湘スポーツセンター条例		
設置目的(設置時期)	スポーツを推進し、県民の誰もが生涯にわたりスポーツを楽しみ、県民の心身の健全な発達、健康で明るく豊かな生活及び活力ある地域社会の実現に寄与するため（昭和57年4月）		
指定管理者名	BSC・三洋装備グループ		
指定期間	R2.4.1～R7.3.31 (2020年)～(2025年)	施設所管課 (事務所)	スポーツ課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応			
<p>提案に基づき、開場日の拡大や定期的な施設情報の広報を行ったほか、効果的に利用者の利用促進を図るため、健康支援プログラムや未病講習会、スポーツプログラムなど自主事業を拡充したことにより、幼児期から高齢者まで多くの年齢層の参加を伸ばし、健康増進やスポーツに親しめる環境づくり等の多くの成果を上げた。</p> <p>また、施設・設備の経年劣化に伴う破損や故障を極力軽減するために、巡回や点検等を重視し早めに対応するなど、利用者への配慮を欠かさず行ったことにより、事故を防ぐことができた。</p> <p>利用状況の評価は、利用増となりS評価であった。利用者の満足度がS評価、収支状況がA評価となったことから、令和6年度の3項目評価についてS評価とした。</p>			
<各項目の詳細説明>			
<p>◆管理運営等の状況</p> <p>提案に基づき、開場日及び時間の拡大を継続実施するとともに、利用促進を図るための自主事業も継続して実施した。施設を無料で開放して行う、西湘運動まつり春（雨天中止）秋の2回、3月のキッズ・フェスティバルが実施できた。また、未病センターを活用した自主事業を年間9回実施し、新規の企画もさらに増やした。高齢者や運動の不自由な方、体力のない方、新規に参加された方など多くの方が参加できた。維持管理業務については、利用者の怪我や事故防止を図るために、事前の施設環境整備に努めた。施設利用者に対しては適正な指導やサポート及び施設内巡回を実施することで、利用者が安全に安心して利用できる環境整備に注力した。また、利用者ニーズに即応した施設運営を心がけた取組を実施できた。</p> <p>◆利用状況</p> <p>感染症対策を取り組みながら施設運営を行った。施設利用者数は、244,577人と目標人数を大幅に増加したことからS評価とした。</p> <p>◆利用者の満足度</p> <p>9月と翌年3月に実施し、総合評価の上位2段階の回答割合が97.7%となったため、S評価とした。回収率は、日頃から利用者とのコミュニケーションを積極的に図り、またアンケートの協力の呼び掛けに努めた結果86%となった。非常に高い評価を得ており、利用者に管理者の日頃の取組が理解された結果であると考えられ、利用者の高い評価は期待の表れと思われる。</p> <p>◆収支状況</p> <p>利用料金収入は、昨年度より若干上回ったが目標額にはとどかなかった。支出については、急激な物価上昇に伴い運営予算を圧迫したが、経費節減や節電の徹底などエネルギーの効率的な利用に努め支出を予算内に収めることができた。結果として、全体の収支比率が101.53%となったことから、A評価とした。</p> <p>◆苦情・要望等</p> <p>体育館やテニス練習コート等の施設や用具の経年劣化、また老朽化による故障や破損等、指定管理者に起因しない要望などが多数寄せられた。管理者としては、職員による事前点検回数を増やしたり、簡易的な修繕を施すなど、利用者に不便が無いように努めた。</p> <p>◆事故・不祥事等</p> <p>定期的な施設巡回によるセキュリティの強化と事故の未然防止対策として、利用者に対する一言運動や看板ポスター掲示等による注意喚起を行うなど積極的な取組を行った結果、事故や大きな怪我は発生しなかった。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況</p> <p>県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</p> <p>◆その他</p> <p>令和6年度の3項目評価についてはS評価とした。</p>			

3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況 (項目6参照)	利用者の満足度 (項目7参照)	収支状況 (項目8参照)	3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう。
S	S	S	A	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	該当なし	
現地調査等 の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	随時現場確認を実施 (2か月に1回程度)	指定管理者から提出された書類の記載内容と現地の状況を照合した結果、適切に指定管理業務等が履行されていることを確認した。
意見交換等 の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	随時意見交換を実施 (2か月に1回程度)	県と指定管理者との間で意見交換を実施し、施設の管理運営上の課題等を情報共有した。
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有・無	指導・改善勧告等の内容

5. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関するコメント
当スポーツセンターの条例に定める休場日の設定《月曜日（休日を除く）、休日の翌日（土・日・休日を除く）、年末年始》を、月に一度（毎月第4月曜日のみ休場（年末年始を除く））に変更して開場日を拡大し、利用者サービスの向上を図る。	提案どおり、休場日を毎月第4月曜日のみとすることにより、年間の利用可能日を40日に増やした。 ※月曜日の延利用者数は24,524人となり、昨年度比では、2,702人、約12%増加した。	月曜日利用が定着。引き続き利用者へのサービスの向上を図ることを期待したい。
当スポーツセンターの運営を通してSDGs（持続可能な開発目標）の目標3「全ての人に健康と福祉を」、目標4「質の高い教育をみんなに」の取組を図る。	自主事業を通してSDGs（持続可能な開発目標）の実施に取組んだ。参加費無料で毎月1回の体育館スポーツイベント、年2回の屋外スポーツイベント、年1回の屋内スポーツイベントの実施、幼児から高齢者までを対象とした安価なスポーツ教室等多数用意した。また、コミュニティ施設としてカルチャープログラムの提供も行った。	幼児から高齢層までさまざまな年齢層の利用者の健康と福祉の向上に資する、工夫を凝らした自主事業の開催を期待したい。
当スポーツセンターの条例に定める予約システムから予約する施設の利用時間の設定について、土日祭日の開場時間を午前8時に変更し、利用者サービスの向上と利用者数の増加を図る。	提案どおり、開場時間を午前8時で準備実施した。利用拡大日数及び時間は、115日、115時間利用可能になった。	開場時間の増により利用者サービスの向上に繋がっている。引き続き利用者サービスの向上を期待したい。
当スポーツセンターの条例に定めるテニスコートの利用時間の設定について、6月～9月の開場時間を午前8時に変更し、利用者サービスの向上と利用者数の増加を図る。	提案どおり6～9月の開場時間を午前8時で準備実施した。利用拡大日数及び時間は、118日、118時間利用可能になった。	利用要望の多いテニスコートの開場時間の増により利用者サービスの向上に繋がっている。引き続き利用者サービスの向上を期待したい。
屋内外の施設利用者のケガや事故防止を図るために、適正な指導やサポートを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が安全に安心して施設を利用できる環境整備に努めた。 ・利用者に対して、口頭、貼り紙などで準備運動の啓発を行った。 ・体育館の新規利用者に対して使用前後に立会いを実施し安全管理に努めた。 ・気温や湿度が高い時は、利用者に熱中症への注意を呼びかけた。また、屋外利用での雷雨などの天候の急変にも注意を払った。 ・トレーニング室の利用者に対しては、初心者講習を受講してもらい、器具の安全な利用方法や個人の目的に合った無理のないトレーニング方法を提供した。 	施設の定期的な巡回、修繕、利用者に対する適切な職員の対応、指導など、利用者の事故防止に向けた取組を行っている。引き続き、利用者が安全に利用できる施設環境を整えていただくとともに、熱中症対策など、利用者への注意喚起を通じて、室内外の施設利用者の事故防止を行っていただきたい。

防災について、発生時に被害を最小限にとどめる対応に重点を置き、人命を第一とした防災計画を確立する。	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回によるセキュリティーの強化を実施するとともに、機械警備と職員巡回警備を組み合わせて行った。 ・警備業務のノウハウを用いた「危機管理マニュアル」を策定し、当該マニュアルに基づく研修・訓練を実施した。 ・「自衛消防隊」の編成により災害時に迅速かつ的確に対応できる環境を整えた。 ・利用者参加の防災訓練『シェイクアウト』（いっせい防災行動訓練（地震発生想定）を実施した。 ・全職員による定期的な防災訓練を年3回実施した。 	小田原消防職員による救命救急実技（AED使用方法・心肺蘇生法）講習及び実技研修を行っている。全職員を対象とした実効的な訓練、研修を継続し、利用者の安全を期していただきたい。
広報活動により施設に関する情報を発信して施設のアピールを図る。	提案どおり施設に関する情報を、掲示板・広報誌、地域回覧冊子・小田原市情報サイト・ホームページ・スタッフブログなどで定期的に発信しアピールに努めた。	引き続き、SNSを活用した広報活動を充実していただくとともに、地域住民や団体などと連携した施設のアピールに努めいただきたい。
ISO14001に準じた環境活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者に対する環境配慮への協力のお願いとして「アイドリングストップ運動」「ごみの持ち帰り運動」「節電、節水の推進」「リサイクル活動」などを図った。 ・掲示板、プリントなどで周知を図り、職員からの声掛けを年間を通して実施した。 	リサイクルや節電など環境配慮に資する環境マネジメントの推進に努めていただきたい。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
事業計画書に基づき、スポーツプログラム（教室）及びスポーツイベントを実施し利用者サービスの向上を図った。	幼児から高齢者を対象とした教室及びイベントを実施した。（参加数は延べ人数） 親子のびのび教室170人、わくわく体育教室240人、西湘体育教室270人、かけっこ教室（A）幼児：12人、小学生：84人、シニア健康づくりタイム114人、テニス教室270人、空手道教室1,567人、キッズフェスタ84人、運動まつり第10回雨天中止、第11回152人、ファン・スポーツ・タイム1,679人。延べ総参加者数は、4,642人と多くの方が参加した。
事業計画書に基づき、カルチャープログラム（教室）を実施し利用者サービスの向上を図った。	心身の健康維持や向上を図るためのカルチャープログラム（教室）を実施した。 書道教室117人、華道教室111人、太極拳教室791人、ヨガ教室592人、シルバー健康体操118人。延べ総参加者数は、1,729人で高齢者や運動の不自由な方、また体力の無い方など多くの方が参加した。
事業計画書に基づき、末病センターで健康支援プログラムを実施し利用者サービスの向上を図った。	健康支援プログラムによる末病講習会を9回実施した。（参加人数は延べ数）脳トレリズム体操：22人、ヤクトおなか元気：13人、簡単エクササイズ：19人、ロコモチェックテスト：5人、正しいウォーキング：8人、ファンケル人生100年：7人が参加した。総参加者数は74人。

6. 利用状況

評価	『評価の目安』 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B： 85%以上～100%未満 C：85%未満 ※施設の特性から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性自立支援施設と県営住宅等が該当）。
S	

	前々年度	前年度	令和6年度
利用者数※	217,750	236,885	244,577
対前年度比		108.8%	103.2%
目標値	174,000	180,000	180,000
目標達成率	125.1%	131.6%	135.9%

目標値の設定根拠： 令和6年度までに平成30年度利用者数に対して20%増の人数（15万人×1.2=18万人）で設定

利用者数の算出方法（対象）： 各施設の利用票の人数（利用者）
＊来館者は含まない

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由 _____

<備考>

7. 利用者の満足度

評価	『評価の目安』 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う。
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	年間2回実施する。	接客対応が高く評価された。また、総合的評価の上位2項目の満足度割合が約97.7%となった。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 施設の管理運営全般に関する総合評価について該当する印象に○を付けてください。

実施した調査の配布方法 受付で直接配布 回収数／配布数 598 / 695 = 86.0%

配布(サンプル)対象 施設利用者（通常利用の団体個人）＊大会利用者には配布しない。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	167	388	13	0	568	・気持ち良い対応や掃除、器具の管理が行き届いている等、職員対応の良好さが評価された。 ・施設及び設備の老朽化に伴う使用上の不具合が不満の対象になった。
回答率	29.4%	68.3%	2.3%	0.0%		
前年度の回答数	161	417	15	0	593	
前年度回答率	27.2%	70.3%	2.5%	0.0%		
回答率の対前年度比	108%	97.1%	90.5%			

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<備考>

8. 収支状況

評価	《評価の目安：収支差額の当初予算額が0円の施設》 収入合計／支出合計の比率が、S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況				支出の状況	収支の状況		
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	18,158	9,328	0		27,486	27,486	0	100.55%
	決算	18,105	8,350	74	自販機電気代	26,529	26,385	144	100.46%
前年度	当初予算	18,029	9,385	0		27,414	27,414	0	101.53%
	決算	18,029	8,167	71	自販機電気代	26,267	26,148	119	101.53%
令和6年度	当初予算	18,002	9,442	0		27,444	27,444	0	101.53%
	決算	18,002	8,670	78	自販機電気代	26,750	26,348	402	101.53%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

令和6年度 /

前年度 /

前々年度 /

<備考>

9. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	件			
	件			
職員対応	件			
	件			
事業内容	件			
	件			
その他	件			
	件			

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合には内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。